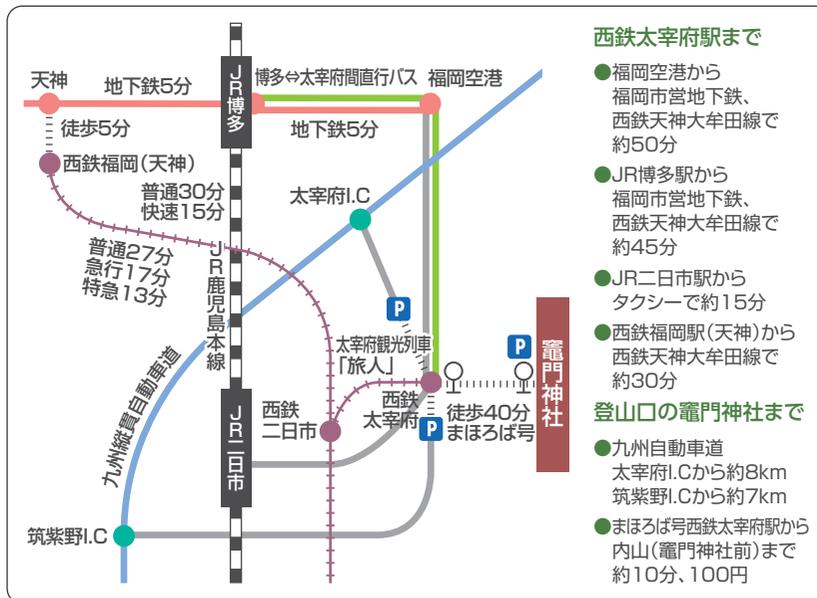


アクセス



キャンプセンター使用時の注意事項

- 土日・祝日は管理人が駐在しています。テントを設営する時は管理人に宿泊する旨を届けて下さい。テントは15時以降設置し、明朝10時までに撤去して下さい。
- テント泊は無料ですが、山小屋での宿泊は宿泊料(500円)、ベランダや小屋内で食事をする場合は休憩料(50円相当)をお支払い下さい。
- 夜22時以降は就寝するか、静かにして下さい。
- ガスコンロ使用を原則とし、薪炭、焚き火、花火は禁止です。
- ベランダや小屋内でのホエーブス、石油コンロ、固形燃料の使用は禁止です。
- テント泊によって出たゴミはすべて持ち帰り下さい。ラーメンや鍋等のスープをトイレに入れないで下さい。
- ペットの連れ込みは原則禁止されています。



登山上の注意

- 暗くなつての山歩きは危険です。時間には十分余裕をもって登りましょう。
- 来たときよりも美しく。ゴミは持ち帰りましょう。
- 台風や豪雨の後は倒木や落石が発生している場合があります。十分に注意して登りましょう。
- 焚き火など、山火事をおこすような危険な行為はやめましょう。
- まわりの木々や草花も大切な自然です。きずつけたり、持ち帰ったりすることをやめましょう。

お問い合わせ先

※山中での事故等は119番へ

太宰府市観光推進課	TEL 092-921-2121
龍門神社	TEL 092-922-4106
宇美町まちづくり課	TEL 092-932-1111
筑紫野市文化財課	TEL 092-921-8419
福岡県自然環境課(九州自然歩道)	TEL 092-643-3369
筑紫野太宰府消防本部	TEL 092-924-5034

※キャンプセンターについての問合せは龍門神社へ

太宰府市観光経済部観光推進課
 TEL 092-921-2121
 FAX 092-921-1601

※このリーフレットは「歴史と文化の環境税」を活用しています。

令和2年3月

宝満山 登山案内

素晴らしい環境を後世に残すため
マナーを守って楽しい登山を

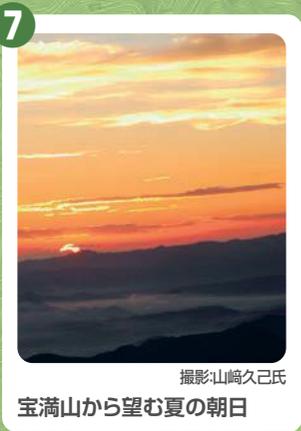
祈りの山 宝満山

霊峰宝満山は古くは「竈門山」とも呼ばれ、天智天皇三年（六六四）、大宰府の鬼門除けのため山頂で八百万神を祀ったのがこの山に於ける祭祀の始まりと『竈門山日記』は伝えていきます。

天台宗を開いた最澄をはじめ遣唐使として中国へ渡った多くの僧侶が竈門山の神に渡航の安全を祈り、中世以降は修験の山として仏教文化が栄えるなど、歴史の変遷と共にさまざまな信仰がこの山中で繰り広げられ、その信仰は連綿と今日に引き継がれています。

この山は、秋田県・山形県境にある鳥海山、世界遺産にも登録され大変話題となった富士山に続き、平成25年10月に国の史跡に指定されました。

「信仰の山」として名実ともに認められた宝満山。永遠に「霊山」としての姿を保つことができるよう、大切に受け継いでいかなければなりません。



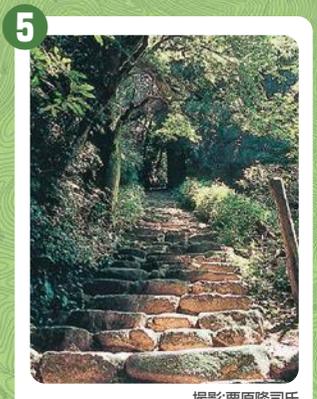
宝満山から望む夏の朝日



朝日に照らされた竈門神社上宮(冬)



宝満山山頂に咲くオニユリ(夏)



百段ガンギ (規則的に並んだ百段の石段)



竈門神社展望舞台より脊振山に沈む夕日(秋)



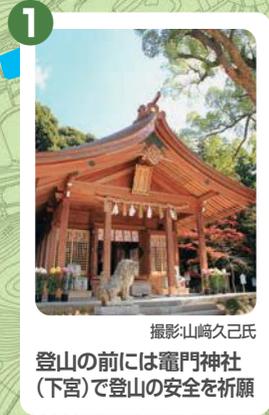
正面登山道 案内

竈門神社境内を通り汐井川沿いに式部稲荷社を抜け急な登り道を抜けると車道に出ます。300mほどで山道との分岐点にたどり着きます。車道を横切って山道を登ると左に鉄塔が現れます。ここが内山林道の終点です。

一の鳥居を過ぎれば、いよいよ石段が待ち構えます。休堂を過ぎたあたりから石段の勾配がきつくなりますのでゆっくり登りましょう。吉田屋敷跡を過ぎれば宝満山名物「百段ガンギ」に至ります。いくらか傾斜の緩くなった石段を登ると芭蕉句碑があり、中宮跡に至ります。

八号目では急峻な「男道」を辿って上宮のある山頂に直登するルートと、キャンプセンターを経由して緩やかに山頂に至る「女道」の二つのルートに分かれます。花崗岩の巨岩の間を縫って進むといよいよ山頂です。

山頂は巨大な岩の上に白亜の上宮の社があり、360度の眺望が開け、福岡市街から博多湾、古処山、英彦山や九重、阿蘇の連山、雲仙岳も望めます。



登山の前には竈門神社(下宮)で登山の安全を祈願



宝満山登山口の汐井川(みそぎを行った所)



六所宝塔跡から宝満山を仰ぐ



整然と並んだ石段とシャクナゲの花



中宮跡(かつて中宮の社があった広場)



中宮跡に咲くズミ(春)